

ウォッチャー (1990)

SOMEBODY HAS TO SHOOT THE PICTURE

メディア TVM

ジャンル ドラマ

製作国 アメリカ

時間 104分

公開情報 劇場未公開・ビデオ発売

【解説】

警官殺しで死刑間近のレイモンド（ハワード）は、自分の最後の姿をプロのカメラマンに残してもらう事を望み、独房にあったティナ・ターナーのポスターを撮影したカメラマン、ポール（シャイダー）を選ぶ。借金を返すために嫌々ながら刑務所にやってきたポールはその異様な雰囲気さに圧倒されながらもシャッターを切っていくが、執行寸前のところで何故か死刑が延期されてしまう。そしてその夜、元警官が拳銃で自殺を図る事件が起きた。それはレイモンドが関わった事件に居合わせた人物で、自殺現場にはレイモンドが殺した警官の現場写真が残されていた。自殺現場に赴いたポールはその写真を偶然フィルムに残すのだが、そこには事件全体に潜む意外な真実が隠されていた……。

「キング・オブ・ジプシー」以来10年以上第一線から退いていたピアソン監督による、久々のアメリカン・ニューシネマの香り漂うスリラー作品。R・シャイダーの渋い演技も光る。

【クレジット】

監督	フランク・ピアソン	Frank Pierson
製作	アラン・バーネット	Alan Barnette
製作総指揮	ウィリアム・サックハイム	William Sackheim
脚本	ダグ・マギー	
撮影	ボジャン・バゼリ	Bojan Bazelli
音楽	ジェームズ・ニュートン・ハワード	James Newton Howard
出演	ロイ・シャイダー	Roy Scheider
	ボニー・ベデルリア	Bonnie Bedelia
	ロバート・キャラダイン	Robert Carradine
	アンドレ・ブラウアー	Andre Braugher
	アーリス・ハワード	Arliss Howard